

英国研究委員会ニュースリリース (2005年9月21日)

## 英国研究委員会は研究成果へのアクセスについての姿勢を進める

News release 21 September 2005

Research Councils UK moves forward with position on access to research outputs

<<http://www.rcuk.ac.uk/press/20050921rcuk.asp>>

この夏の間の意見聴取 (consultation) の後で、英国研究委員会 (RCUK: Research Councils UK) は、研究成果へのアクセスについて提案した姿勢 (position) を進めることを維持しつつある。最終的な通知は11月に発表される見込みである。

RCUK傘下の共同作業の下で、8つの英国の研究委員会は、2005年6月に研究成果へのアクセスに関して生じつつある見解を公表し、8月31日までの期限で利害関係者に対する意見聴取を行った。本研究委員会は、委員会を横断する作業グループを通じて聴取意見を検討し、10月後半に決定が行われる見込みである。

RCUKに対する意見聴取の調整を行っている Astrid Wissenburg 博士は、「本研究委員会の最優先事項は、納税者による資金助成を受けた研究成果の入手可能性とアクセス可能性を保証することである。この広範な原則は、価格に見合う価値 (value for money)、研究の長期保存及びピアレビューによる品質管理への維持への関心と共に、ほとんどすべての提出意見から支持された」と語った。

彼女は、「本研究委員会は、進行中の意見聴取と提案している姿勢によって影響を被る出版社、学会及び他の利害関係者との対話に取り組んでいる。6月に概要を示した姿勢は2008年のレビューの約束を含むものである。これには、重要な利害関係者と相談の上実施される調査によって情報が提供されるであろう。私たちが作業しているスケジュールは、継続するための交流の時間と私たちにとっては出版モデルの変化に対してどのような影響を及ぼす可能性があるかを確認することを考慮している。」と付け加えた。

最終的な通知は11月まで発表されない見込みなので、もともと提案されている研究委員会の10月の助成には何も関係がないであろう。本研究委員会が資金助成を行っている研究者に対する助成条件の変更は、2006年初めに与えられる助成から効力を発生する可能性が高いであろう。